



長くかきこい資産形成を、
すべての人へ。

2018 一億人の投信大賞

謹啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

「一億人の投信大賞」選定委員会よりご挨拶申し上げます。

2019年3月4日、「一億人の投信大賞 2018」の選定にて、入賞ファンドが決定いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

本投信大賞についての詳細は「一億人の投信大賞」ウェブサイト (<http://lokutoshin.net/>) を合わせてご参照いただければ幸いです。

謹白

「一億人の投信大賞」選定委員会

高橋 忠郎 (パワーソリューションズ 取締役副社長)

竹川 美奈子 (LIFE MAP,LLC 代表)

島田 知保 (イボットソン・アソシエイツ・ジャパン

月刊『投資信託事情』発行人・編集長)

※当選定委員会は個人の立場で投資信託による資産形成を啓蒙するために有志が集まった非営利のアワードです。ウェブサイトおよびロゴの製作はパワーソリューションズ、選定のためのデータはイボットソン・アソシエイツ・ジャパンの好意により無料で提供されております。賞に関して広告費・ロゴ使用料の受領、協賛セミナーのお願いなどは一切していません。

<「一億人の投信大賞」とは>

「一億人の投信大賞」は、「普通の人が普通に長期投資で資産形成をする」ために使えるような、より良い投信探しから始まりました。

きっかけは2013年の夏。2014年からNISA制度が始まるので、メディアや金融機関では「NISA情報」が飛び交っていましたが、しかし、投資信託の主流は富裕な高齢者向けの毎月決算型や、流行のテーマや投資先の新商品で、資産形成層が5年先を見据えて商品を選ぶのが困難な状況でした。長期で投資をしようと思っても……5年経つ前に繰上償還されてしまうかもしれない。これでは普通の人々が資産形成をしたくても、どんな投信を選べばよいかわかりません。そこで、自分たちで「普通の人

が普通に長期投資で資産形成をするため」という視点で良い投信を徹底的に探してみよう！ と企画したのが「一億人の投信大賞」です。

このファンド大賞は 2013 から始まり、今回の 2018 で 6 回目を迎えました。この間、「顧客本意の業務運営」の取り組みが金融機関で進み、2018 年 1 月からはつみたて NISA 制度も始まりました。まだ投資に取り組んでいない人に向けて、「資産形成ツール」としての投資信託の良さをより広く発信する環境が整ってきました。一方で、低コストのパッシブ投資万能論ばかりが声高に説かれることには、少し違和感があります。投資とは、人それぞれのニーズや価値観、生き方を反映して取り組める、もっと自由なものだと考えているからです。

このファンド大賞には、よいアクティブ投信をみつけないという思いもこめられています。あえてパッシブ投信と区別せずにスクリーニングを行っているのもそのためです。短期で値上がりする、大きく儲ける、という投機的な投資は念頭にありません。預貯金だけでなく、株式や債券に少しずつお金を振り向けて、時間をかけて資産を形成しようと思う人に、参考となるような情報を提供したいと思っています。資産形成のための投資信託啓蒙の一助となれば幸甚です。

お問い合わせ先：いずれの連絡先でもご対応申し上げます。

shimada@ibbotson.co.jp (島田)

t-takahashi@powersolutions.co.jp (高橋)

info@lifemapllc.com (竹川)

「一億人の投信大賞」は個人の立場で投資信託による資産形成を啓蒙するために、非営利の任意団体である「一億人の投信大賞選定委員会」がデータをもとに選定した投信大賞です。

「一億人の投信大賞 2018」は、過去の情報にもとづくものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、掲載している情報は参考情報として提示するものであり正確性・完全性を保証するものではありません。

<「一億人の投信大賞」選定について>

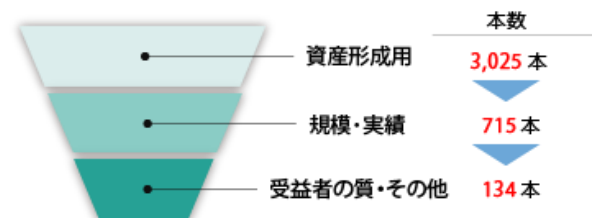
資産形成において長期の積立投資などにおいてコア資産として活用するのに適した、スタンダードな資産クラスの投資信託を選定します。また、資金がコンスタントに流入していることを重視します。

○ 対象ファンドの絞り込みは以下の基準で行います。

- ・前年 12 月末時点
- ・ETF を除外
- ・SMA・ラップ専用を除外
- ・DC 専用を除外
- ・決算回数：年 12 回、6 回、4 回を除外
- ・基準月末純資産 30 億円未満を除外
- ・運用実績 3 年未満のものを除外
- ・過去 36 か月のうち資金純減月数 13 か月以上のものを除外
- ・その他資産などと、ブルーベア型など短期投資向けを除外
- ・投資テーマ、投資地域、対象通貨（日本円以外）など限定されるものを除外

2018年 12月末時点 公募株式投信 **5,783 本**

運用成果の評価以前に134本まで絞りこんでいます。



今回は **5783 本** の追加型株式投信から **134 本** が対象ファンドとなりました。

運営委員会としては、この 134 本の対象ファンドすべてを称えたいと思います。

※本来は 5 年、10 年と長い期間で選定したいのですが、現状では候補となる投信の数の問題があり、また、投資家の視点に立った商品開発も進んでいるので、3 年としております。特にインデックス投信では後発の低コストの商品が出てきておりますが、トラックレコードが 3 年以上のものを対象としています。

※資金純増の理由として確定拠出年金向けにも販売しているケースがあります。長期投資家にとって、この安定的な資金流入が見込まれる投信は信頼性が高いと言えます。現在対象外となっている DC 専用投信も、公募にも開放していただければ長期投資家にとって良い投資対象となると思います。

○ 優秀ファンドは以下の各項目についての順位を付与し、その合計点によって選定されます。

- ・アクティブ投信は対ベンチマーク超過リターンが高いもの
(各月のベンチマークと比較した勝率)
- ・パッシブ投信はトラッキング・エラーが小さいもの
- ・シャープレシオが高いもの
- ・資金流入の標準偏差が小さいもの
- 同点の場合は、アクティブは 3 年のリターンが高い順、
パッシブはトラッキングエラーが小さい順、
アクティブとパッシブは 3 年のリターンで順序を決める
- ・アロケーション型はシャープレシオが高いもの
- ・資金流入の標準偏差が小さいもの
- 同点の場合は 3 年のリターンで順序を決める

※ アロケーション型のリスクコントロール型、TAA 型については、ノミネート投信の掲載のみ、評価対象外として順位付けは行っておりません。また、外国株式型（日本を含む）、同（除く日本）の為替ヘッジ型については、各カテゴリーでノミネート投信が 1 本ずつであったため、評価対象外としました。

～ すべてのノミネートされた投資信託の健闘を称えて ～
一億人の投信大賞2018 全ノミネート投資信託 一覧

総合順位	運用会社	つみたてNISA対象	パッシブ	ファンド名
国内株式				
1	SBIAM			SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト(年2回決算型)(next II)
2	クローバーAM			コードファンド
3	野村AM			ジャパン・アクティブ・グロース(分配型)
4	AM-One			新光日本小型株ファンド(風物語)
5	コモンズ投信	○		コモンズ30ファンド
6	大和投信		◎	ダイワ・インデックスセレクト 日経225
7	AM-One			MHAM日本成長株オープン
8	大和投信		◎	ダイワ・インデックスセレクト JPX日経400
9	AM-One			MHAM新興成長株オープン(J-フロンティア)
10	明治安田AM			新成長株ファンド(グローイング・カバース)
11	大和住銀投信	○		大和住銀DC国内株式ファンド
12	三井住友トラストAM	○	◎	SMT TOPIXインデックス・オープン
13	日興AM	○		年金積立 Jグロース(DC Jグロース)
14	鎌倉投信	○		結い 2101
15	レオス	○		ひふみ投信
16	損保J日本興亜AM			損保ジャパン・グリーン・オープン(ぶなの森)
17	レオス	○		ひふみプラス
18	三菱UFJ国際投信			三菱UFJ システムバリューオープン(プロフェッサー)
19	SBIAM			SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(年2回決算型)(jrevive II)
20	ニッセイAM	○	◎	〈購入・換金手数料なし〉ニッセイトPIXインデックスファンド
21	AM-One	○	◎	たわらノーロード 日経225
22	しんきんAM		◎	しんきん日経平均オープン
23	三菱UFJ国際投信			三菱UFJ バリューオープン
24	三井住友AM	○	◎	三井住友・DCつみたてNISA・日本株インデックスファンド
25	しんきんAM		◎	しんきんJPX日経400オープン
26	三井住友トラストAM			中小型株式オープン(投資満々)
27	ポートフォリア			みのりの投信
28	ニッセイAM	○		ニッセイ日本株ファンド
外国株式				
1	野村AM			野村未来トレンド発見ファンド Bコース(為替ヘッジなし)(先見の明)
2	セゾン投信	○		セゾン資産形成の達人ファンド
3	SBIAM	○	◎	EXE-i グローバル中小型株式ファンド
4	三菱UFJ国際投信			モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)
5	フィデリティ投信			フィデリティ・グローバル・ファンド
6	ユニオン投信			ユニオンファンド
7	キャピタル・I			キャピタル世界株式ファンド
外国株式(除く日本)				
1	AM-One	○	◎	たわらノーロード 先進国株式
2	三菱UFJ国際投信	○	◎	eMAXIS 全世界株式インデックス
3	三井住友トラストAM	○	◎	SMT グローバル株式インデックス・オープン
4	野村AM	○	◎	野村インデックスファンド・外国株式(Funds-i 外国株式)
5	SBIAM		◎	EXE-i 先進国株式ファンド
6	三井住友AM	○	◎	三井住友・DCつみたてNISA・全海外株インデックスファンド
7	ニッセイAM	○	◎	〈購入・換金手数料なし〉ニッセイ外国株式インデックスファンド
8	インベスコAM		◎	インベスコ MSCIコクサイ・インデックス・ファンド
外国株式(円ヘッジ) ※対象ファンドでしたが、同種類の投信が無いため評価外としました				
	三菱UFJ国際投信		外国株式型(円ヘッジ)	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)
	野村AM	○	同(除く日本/円ヘッジ)	野村インデックスファンド・外国株式・為替ヘッジ型(Funds-i 外国株式H)
新興国株式				
1	野村AM	○	◎	野村インデックスファンド・新興国株式(Funds-i 新興国株式)
2	三井住友トラストAM	○	◎	SMT 新興国株式インデックス・オープン
3	SBIAM		◎	EXE-i 新興国株式ファンド
4	シュロダー			シュロダー・エマーゼンダ株式ファンド(1年決算型)(かぶしき花子)
5	日興AM		◎	インデックスファンド海外新興国(エマーゼンダ)株式(DC Idx海外新興国株式)
国内債券				
1	AM-One		◎	たわらノーロード 国内債券
2	三井住友AM		◎	三井住友・日本債券インデックス・ファンド
3	ニッセイAM			ニッセイ日本インカムオープン(年1回決算型)(Jボンド(年1回決算型))
4	三井住友トラストAM		◎	SMT 国内債券インデックス・オープン
5	日興AM		◎	インデックスファンド日本債券(1年決算型)(DC インデックス日本債券)
6	ニッセイAM		◎	〈購入・換金手数料なし〉ニッセイ国内債券インデックスファンド
7	AM-One		◎	日本債券ファンド
8	しんきんAM			しんきん公共債ファンド(ハロー・インカム)
外国債券				
1	三菱UFJ国際投信			PIMCO インカム戦略ファンド(米ドルインカム)(年2回分配型)
2	三井住友トラストAM		◎	SMT グローバル債券インデックス・オープン
3	三菱UFJ国際投信		◎	三菱UFJ 世界国債インデックスファンド(年1回決算型)
4	三菱UFJ国際投信			三菱UFJ 海外債券オープン
5	ニッセイAM		◎	〈購入・換金手数料なし〉ニッセイ外国債券インデックスファンド
6	三井住友AM		◎	三井住友・DC外国債券インデックスファンド
7	AM-One		◎	たわらノーロード 先進国債券
8	AM-One			グローバル・ボンド・ポート(Dコース)
外国債券(円ヘッジ、部分ヘッジ)				
1	AM-One			グローバル・ボンド・ポート(Cコース)
2	三菱UFJ国際投信			PIMCO インカム戦略ファンド(円インカム)(年2回分配型)
3	東京海上AM			東京海上・ニッポン世界債券ファンド(為替ヘッジあり)(年1回決算型)
4	ベアリングス			BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(1年決算型)(ウィンドミル1年)

総合順位	運用会社	つみたてNISA対象	パッシブ	ファンド名
新興国債券				
1	三菱UFJ国際投信			エマージング・ソブリン・オープン(1年決算型)
2	日興AM		◎	インデックスファンド海外新興国(エマージング)債券(1年決算型)《DC インデックス海外新興国債》
3	三井住友トラストAM		◎	SMT 新興国債券インデックス・オープン
国内REIT				
1	三井住友トラストAM			Jリートアクティブファンド(1年決算型)
2	大和投信		◎	ダイワ・インデックスセレクト J-REIT
3	AM-One		◎	たわらノロード 国内リート
4	しんきんAM			しんきんJリートオープン(1年決算型)
先進国REIT				
1	ニッセイAM		◎	＜購入・換金手数料なし＞ニッセイグローバルリートインデックスファンド
2	AM-One		◎	たわらノロード 先進国リート
3	三菱UFJ国際投信			ワールド・リート・オープン(1年決算型)
アロケーション・安定型				
1	損保J日本興亜AM			ハッピーエイジング60
2	三井住友AM	○	◎	三井住友・DC年金バランス30(債券重点型)《マイパッケージ30》
3	損保J日本興亜AM			ハッピーエイジング50
4	三菱UFJ国際投信		◎	三菱UFJ ライフセレクトファンド(安定型)
5	東京海上AM			東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)《円奏会(年1回決算型)》
6	大和投信	○	◎	ダイワ・ライフ・バランス30
7	ニッセイAM	○	◎	DCニッセイワールドセレクトファンド(債券重視型)
8	野村AM		◎	マイ・ロード
アロケーション・やや安定型				
1	三井住友AM			三井住友・ライフビュー・バランスファンド50(標準型)
2	GCIアセット・マネジメント			GCIエンダウメントファンド(安定型)
3	大和投信	○	◎	ダイワ・ライフ・バランス50
4	明治安田AM			楽天資産形成ファンド《楽天525》
5	三井住友AM	○	◎	三井住友・DC年金バランス50(標準型)《マイパッケージ50》
6	三菱UFJ国際投信		◎	三菱UFJ ライフセレクトファンド(安定成長型)
7	ニッセイAM	○	◎	DCニッセイワールドセレクトファンド(標準型)
8	三菱UFJ国際投信			スマート・クオリティ・オープン(安定成長型)(1年決算型)《スマラップN》
9	HSBC投信			HSBC ワールド・セレクト(安定成長コース)《ゆめラップ安定成長》
10	HSBC投信			HSBC ワールド・セレクト(安定コース)《ゆめラップ安定》
11	野村AM		◎	のむらっぴ・ファンド(保守型)
アロケーション・標準型				
1	大和投信	○	◎	ダイワ・ライフ・バランス70
2	日興AM			財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)資産成長型《財産3分法-資産成長型》
3	ニッセイAM	○	◎	DCニッセイワールドセレクトファンド(株式重視型)
4	三井住友AM	○	◎	三井住友・DC年金バランス70(株式重点型)《マイパッケージ70》
5	損保J日本興亜AM	○		ハッピーエイジング40
6	三井住友トラストAM		◎	SBI資産設計オープン(資産成長型)《スゴ6》
7	三井住友AM			SMBC・日興資産成長ナビゲーション
8	野村AM		◎	のむらっぴ・ファンド(普通型)
アロケーション・やや積極型				
1	GCIアセット			GCIエンダウメントファンド(成長型)
2	野村AM	○	◎	野村インデックスファンド・内外7資産バランス・為替ヘッジ型《Funds-i 内外7資産パハ》
3	三菱UFJ国際投信		◎	三菱UFJ ライフセレクトファンド(成長型)
4	損保J日本興亜AM	○		ハッピーエイジング30
5	セゾン投信	○	◎	セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド
6	野村AM	○	◎	のむらっぴ・ファンド(積極型)
7	三井住友AM			日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド ヘッジなし/年2
アロケーション・積極型				
1	三井住友トラストAM		◎	世界経済インデックスファンド(株式シフト型)
2	三菱UFJ国際投信	○	◎	eMAXIS バランス(8資産均等型)
3	HSBC投信			HSBC ワールド・セレクト(成長コース)《ゆめラップ成長》
4	損保J日本興亜AM	○		ハッピーエイジング20
5	三井住友トラストAM	○	◎	世界経済インデックスファンド
※ 対象ファンドとしてスクリーニングが残ったが、資産配分が変動する等のため評価外としました(順不同)				
	日興AM	リスクコントロール型		スマート・ファイブ(1年決算型)
	日興AM	リスクコントロール型		ファイブ・ブレンド(資産成長型)
	AM-One	リスクコントロール型		投資のソムリエ
	しんきんAM	TAA型		しんきん世界アロケーションファンド
	JPモルガンAM	TAA型		JPMベスト・インカム(年1回決算型)
	ステート・ストリート	TAA型		AMC/ステート・ストリート・リスクバジェット型バランス・オープン(ステイブル)
	野村AM	TAA型		野村世界6資産分散投資(配分変更コース)
	ブラックロック	TAA型		ブラックロック・インデックス投資戦略ファンド《iバズル》
	ピクテ投信	TAA型		ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド《クアトロ》
	日興AM	TAA型		スマート・ラップ・ジャパン(1年決算型)
	三菱UFJ国際投信	TAA型		トレンド・アロケーション・オープン
	ピクテ投信	TAA型		ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド(1年決算型)《ノアリザープ1年》
	AM-One	TAA型		グローバル・アロケーション・オープン Cコース(年1回決算・限定為替ヘッジ)
	アライアンス・B	ターゲット・イヤー型		アライアンス・パーンスタイン・財産設計 2020
	アライアンス・B	ターゲット・イヤー型		アライアンス・パーンスタイン・財産設計 2030